様式３（2020.08改）

作成日　令和3年5月27日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800103
事業所名	グループホーム　希望の泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	ホームの恒例行事である周年祭は、心待ちにしている地域住民も多いことから、地域の一員として受け入れられている根拠となっている。 毎月広報誌を届けに来所する区長とは　、都度意見交換を行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍により、市に相談し書面開催としている。 対面開催時からの参加者(家族・民生委員・区長・行政担当職員)には、議事録を送付・提出をしている。 地域高齢者の相談窓口になって欲しいとの要望もあった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政担当者とは、運営上の相談や空き情報の報告など、緊密な連携を図っている。 コロナ対策も市や社会福祉協議会と協議をしている。 社会福祉協議会と共同で、認知症サポーター養成講座を開催した実績がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族とは気軽に話し合える関係を築いている。 家族の意見・要望は真摯に受け止め、職員間で共有して改善に努めている。 コロナ下でも、利用者・家族の思いを第一に考え、感染対策を施して面会を継続している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

行政に相談の上で6回すべての運営推進会議を書面開催とし、記録を関係者に送付、提出した。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										